

【参考】横浜若葉台 こどもみらいづくり宣言 制定に至る経緯と解説

横浜若葉台 こどもみらいづくり宣言 制定に至る経緯

2018年1月に「若葉台子育てささえあい連絡会」と「若葉台住宅管理組合協議会」間で、雨の日のこどもの遊び場として高層棟1階のピロティの開放検討の打合せが行われました。打合せでは、前向きに検討することになりましたが、こどもたちの声を「うるさい、迷惑」と感じる人も現実にはおられるので、地域住民に理解・協力して頂くためには、「若葉台こども憲章」的なものを作る必要ありという認識で一致し、活動を開始しました。

同時期、「横浜若葉台みらいづくりプラン推進会議（会長：若葉台連合自治会・山岸会長）」も動き出しており、「横浜若葉台みらいづくりプラン」の中で謳っている「地域包括子育て」の趣旨と合致しているため「若葉台こども憲章」的なものをつくる部会（E部会）として加えて頂きました。

最終的には、プロジェクト名は「若葉台こどもみらいづくりプロジェクト」となり、憲章名も「横浜若葉台 こどもみらいづくり宣言」となっています。

横浜若葉台 こどもみらいづくり宣言 の解説

注記：宣言でいうこどもとは、乳幼児、小学生、中学生、高校生の範囲を言います。

<サブタイトル> こどもたちの声で「にぎわうまち」を目指すというサブタイトルには、「挨拶の飛び交うまち」もイメージしています。

<前文> プロジェクトメンバーの素直な気持ちを文章化したものであるが、強調したいところは、「保護者を地域が支えていく必要がある」、「こどもたちの自主性を尊重し、多様性を受け入れ、いつまでも、誰にとっても、…」といったところです。

<本文>（番号は本文の番号に対応）

1. 多世代でアットホームな若葉台の雰囲気や「大家族」という言葉で表わしつつ、まち全体での見守りを考えていることが伝わればと思います。
2. 「やりたい」を尊重し、とは、「学びたい、遊びたい」といったこどもの自主性と多くの可能性を尊重したいという意味です（若葉台は外遊びができる環境づくりも推進しています）。また、「子育て・子育て」の子育てとは、こどもが自ら育つ力を意味します。
3. 本項は、こどもと保護者の居場所づくりの推進を謳っていますが、「どのようなこどもにとっても」居心地の良い場所・雰囲気であるべきであり、かつ、保護者にとっても生き生き（夢を実現）できる場所でありたいという意味を含みます。
4. 本項は、こどもが地域に誇りを持てるよう、まずは大人が規範となって、地域の自然環境・歴史・文化に学び、各種行事に参加して貰うことで、次の世代に繋げたいという意味を含みます。
5. 本項は、「多種多様な人がいること」へ心を傾け、即ち、相手を思いやる気持ちが大切であることを強調しており、虐待やいじめといった社会的問題への対応にも繋がると期待しています。

横浜若葉台みらいづくりプラン推進会議 E部会
（若葉台こどもみらいづくりプロジェクト）2019年5月16日制定

横浜若葉台 こどもみらいづくり宣言

～こどもたちの声で「にぎわうまち」を目指して～



<前文>

こどもは、社会のたからであり、かけがえのない存在として、保護者・地域住民が一体となって、愛情をもって育てていく必要があります。同時に、ゆとりある子育てができるように、保護者を地域が支えていく必要があります。ここに横浜若葉台は、みらいをつくるこどもたちの自主性を尊重し、多様性を受け入れ、いつまでも、誰にとっても、「住みやすく・子育てしやすい」まちづくりを宣言します。

<本文>

1. 横浜若葉台は、ひとつの「大家族」のように「地域ぐるみ」でこどもたちの成長を見守ります。



2. 横浜若葉台は、こどもの「やりたい」を尊重し、のびのびと「子育て・子育て」できる環境づくりを推進します。



3. 横浜若葉台は、誰もがこころもからだも「ホッと」できる、居心地の良い場所づくり・雰囲気づくりを推進します。



4. 私たち住民は、このまちの自然環境・歴史・文化に学び、こどもたちが「誇りを持てるまち」を目指します。

5. 私たち住民は、大人もこどもも、「多種多様な人がいる」ことへ心を傾け、一人ひとりの存在を尊重します。



以下は、地域団体、学校、こども、など地域関係者から寄せられた、「横浜若葉台こどもみらいづくり宣言」を受けての対応方針です。（2019年5月末日現在）

【若葉台連合自治会】

1. 私たち若葉台連合自治会は、この宣言に対する「地域関係者共通」の対応方針に同意します。
2. 連合自治会が開催するイベントなどの活動を通じて、こどもたちの健やかな成長を支援します。
3. 青少年部を中心に、こどもたちの安全や健やかな成長を支援します。
4. 子育てにかかわる関係機関への支援を行うとともに、連携を強くします。

【若葉台子育てささえあい連絡会】

子育てささえあい連絡会の2019年度は今後の仕組みづくりを検討することとなりました。具体的に事業は行いませんが、地域循環を目指しています。こどもを通して地域が循環できる仕組み作りに協力いたします。

【若葉台地区社会福祉協議会】

- ・学校と地域との連携を強化して、こどもの健やかな成長を支援します。
- ・プレイパーク、サロン等の活動を支援し、こどもたちの活動の場を広げます。

【そらまめ】

日々、そらまめでこどもたちと触れ合って痛感することは、こどもの感受性、好奇心、想像力は計り知れません。無限大です。私たち大人が想像する以上にこどもの心身の成長には感動だらけです。だからこそ一瞬一瞬の触れ合いを大事にしていきたいと思っています。

こどもは遊びを通じて自由に表現する喜びや楽しさを知り、おもちゃの取り扱いなどから協調性を学び、コミュニケーションを通じて人とのつながりを理解します。

現在「若葉台こどもみらいづくりプロジェクト」は、若葉台だからこぞできる何かを変えていこう！！と進んでいます。

私たちは、若葉台の遊べる居場所の魅力をこどもたちに伝える責任があるのではと思います。こどもたちが自由に安心して遊べる空間を提供し、遊びに夢中になり楽しい時間を大切に見守る、こども側に寄り添う応援団になっていきましょう。こどもたちとの心の触れ合い結びつきが、若葉台の未来の財産となりますように。

【若葉台住宅管理組合協議会】

1. 私たち管理組合組織は、この宣言に対する「地域関係者共通」の対応方針に同意します。
2. 高層棟1階のピロティ開放の件は、現在、進められている多世代交流の試行に協力して行く他、具体的な開放案について、2019年度の活動の中で検討して行くものとします。
3. 各住宅管理組合は、若葉台の樹木管理を適切に行い、緑の環境維持を通し、この宣言に貢献します。

【NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ】

私たち若葉台スポーツ文化クラブは、この宣言に対する「地域関係者共通」の対応方針に賛同し、応援します。

私たち住民は、この宣言を「お互いに理解し合い」、こどもたちの声で「にぎわうまち」の実現に向けて努力していくことを誓います。（地域関係者共通）

【若葉台民生児童委員連絡協議会】

- 地域でのさまざまな活動を通じて、こどもたちの健やかな成長を支援していきます。
- ・関係機関との連携をさらに強くしていきます。
 - ・保護者の声や地域の声に耳を傾け、活動に活かしていきます。
 - ・「ジュニアボランティア」や「プレイパーク」、「たんぼぼ」などの活動を通じてこどもたちの活動の輪を広げていきます。
 - ・こどもたちの良きモデル、相談相手となるよう心掛けていきます。

【若葉台子育て母の会】

- ・つながりを大切にし、親子で育ちあいます。
- ・地域交流や自治会活動に積極的に参加し、親子で地域から学ぶことを目指します。
- ・横浜若葉台で育まれた想いを受け継ぎます。

【若葉台地区センター】

- ・地区センターは、『若葉台中央にある気軽に利用できるみんなの居場所』です。あらゆる世代の方が一緒に安心して気持ちよく過ごせるように環境を整えます。
- ・こどもの意見も聞き、取り入れます。
- ・こどもの「やってみよう」を刺激する事業を企画します。
- ・子育て中の方が心身ともにリフレッシュできる事業を企画します。



【認定NPO法人若葉台】

認定NPO法人若葉台は、地区社協が課題として取り組んできた「子育て」「障害者」「高齢者」に対する特別な支援を住民による住民のための助け合いにより実現してきました。今回のこどもみらいづくり宣言は、地域のこどもそれは私たちの未来であり、希望であることを高らかに宣言し、こどもを真ん中にみんなで助け合っていくことを再確認したものと考えています。私たちは「親と子のつどいの広場そらまめ」、「地域交流拠点ひまわり」でのわくわく教室、「地域交流サロンふれあいにし」での夏休み子どもの広場事業などを推進し、今までもこれから子育て環境の充実に努めていきます。

【横浜市若葉台地域ケアプラザ】

- ・こどもや保護者が安心して訪れることができる施設として、また地域の方同士の交流や必要な情報提供が受けられる場所となるよう事業を行います。
- ・障害や生活に不安がある等の困難を抱えるこどもや保護者を含む、地域にお住まいの全てのこどもや保護者が健康で安心して生活を営めるための身近な相談場所となり、区役所、区社会福祉協議会、その他相談機関等と連携して、困りごとの解消に努めます。
- ・こどもや保護者が安心して地域で生活ができるよう福祉保健活動の振興を図るとともに、地域の方々に寄り添いながら環境づくりに努めます。